



高めよう 地域協働の力!



資料 2 - 1



多面的機能支払交付金

安全研修会



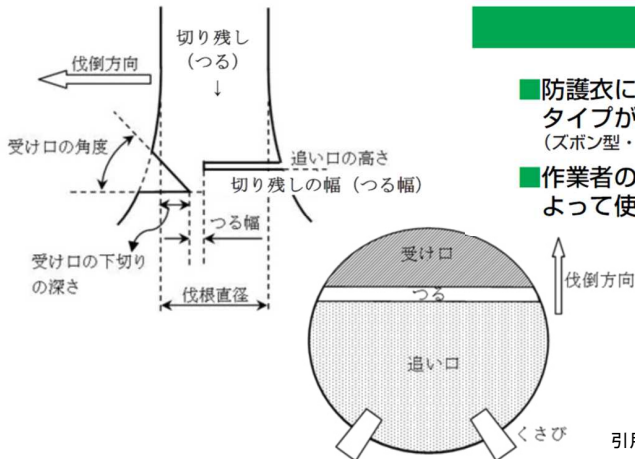
群馬県水土里保全協議会

刈払機安全作業動画



伐木作業の安全（チェーンソー）

- 伐倒前に伐倒方向の反対側の木の陰などの退避場所及び退避ルートを選定させること。
- かん木、枝条、ササ、つる、浮石等で、伐倒の際その他作業中に危険を生ずるおそれのあるものを取り除くこと。
- 伐倒しようとする立木の胸高直径が20センチメートル以上であるときは、伐根直径の4分の1以上の深さの受け口を作り、かつ、適当な深さの追い口を作ること。この場合において、技術的に困難である場合を除き、伐根直径の10分の1程度となるように、つるを確保すること。
- 伐木等作業において、伐倒者は下肢の切創防止用保護衣を着用すること。



防護衣のタイプ

- 防護衣には、いくつかのタイプがあります。
(ズボン型・チャップス型・ローハイド型)など
- 作業者の熟練度や作業状況によって使い分けることができます。



引用：厚生労働省 チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン
林業・木材製造業労働災害防止協会 防護衣を着よう！

3

作業の安全のために

- 草刈り、雑木伐採、車両機械操作中の事故。
- 保険に加入する。
- 現地の下見、打合せ、緊急連絡先の確認。
- 工事の直営施工はヘルメット着用のこと。

多面的活動中の事故が発生した場合

優先すべき処置が完了しましたら、
速やかに一報、市町村担当者へ連絡

4

令和4年度 事故の発生状況

• 150件の事故が報告

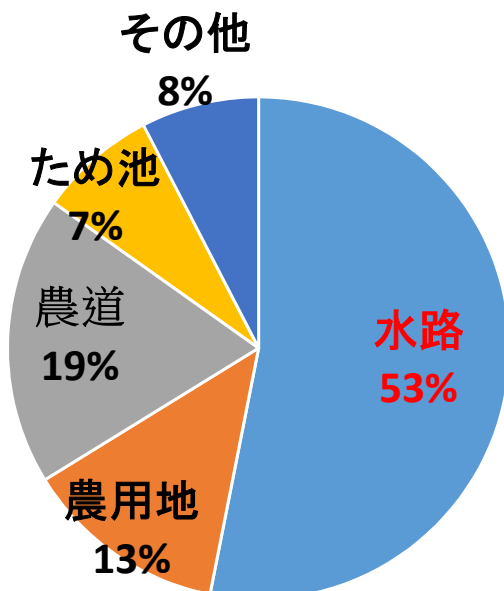
• 保険未加入の事故が4件あった

※出典: 多面的機能支払交付金共同活動の安全のしおり(農林水産省)
調査期間(令和4年4月~令和5年2月) 5

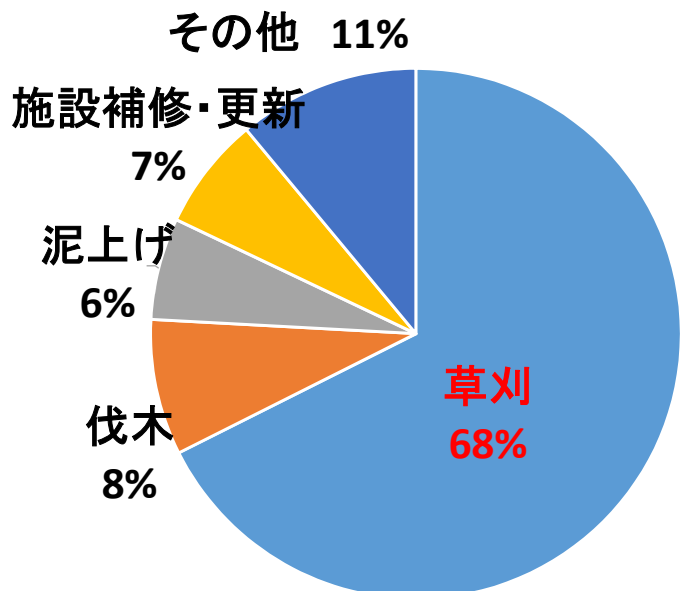
【全国】多面的活動: 事故発生状況(1)

令和4年度

◇発生場所別
事故発生割合



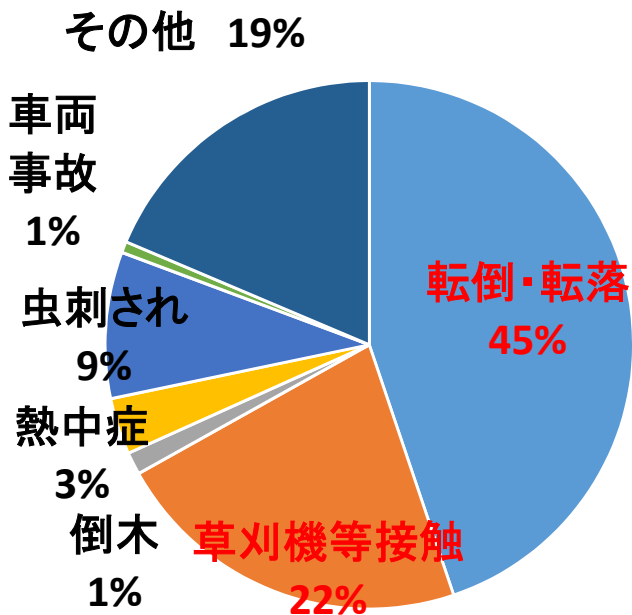
◇活動項目別
事故発生割合



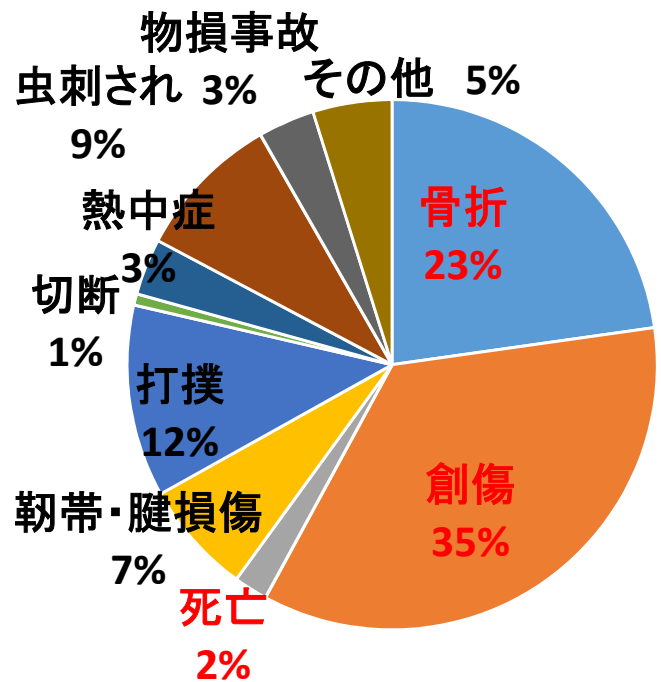
【全国】多面的活動：事故発生状況(2)

令和4年度

◇事故原因別
事故発生割合

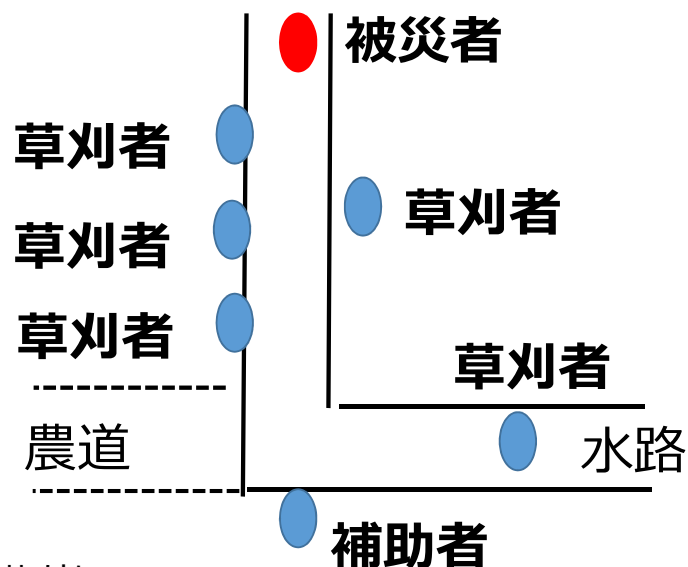


◇被災状況別
事故発生割合



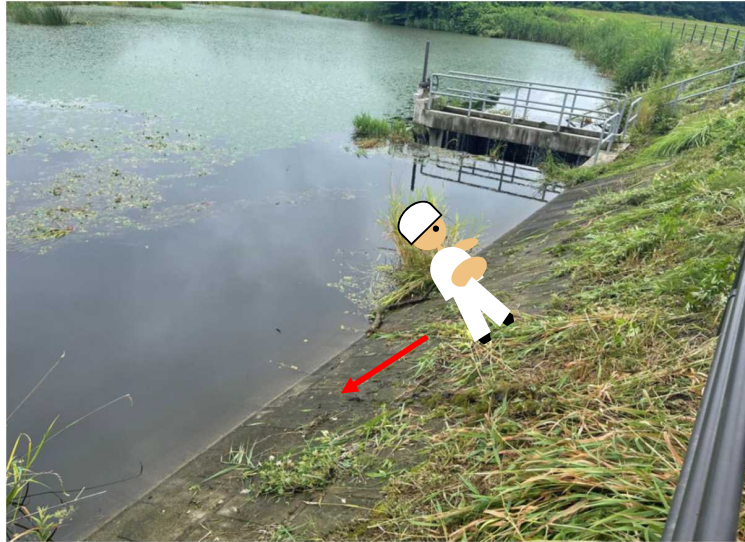
7

重大事故(1)



- ・活動項目：水路の草刈り
- ・作業内容：水路周りの草刈り作業
- ・事故概要：7人で水路の草刈作業中、本人の操作の誤りにより、草刈機が左膝の裏に接触。
- ・被災状況：死亡（失血死）
- ・発生原因：防護服やヘルメットの非着用。危険箇所の確認や周囲の声かけ不足。8

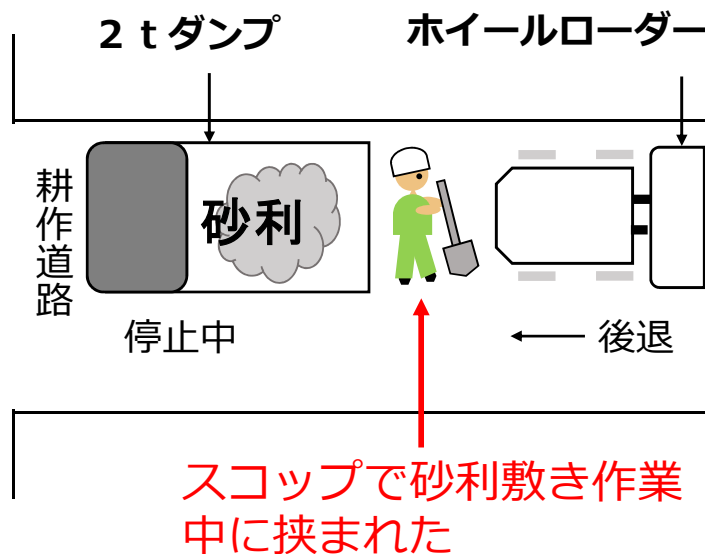
重大事故(2)



- ・活動項目：ため池の草刈り
- ・作業内容：ため池の草刈り作業
- ・事故概要：14人でため池の草刈り作業中、1人が誤ってため池に転落。その後、救助を試みたもう1人も誤ってため池に転落。
- ・被災状況：死亡（溺死）※2人とも
- ・発生原因：安全な作業方法の周知不足。危険箇所の確認や周囲の声かけ不足。

9

重大事故(3)



- ・活動項目：路面の維持
- ・作業内容：砂利敷き作業
- ・事故概要：スコップでの砂利撒き出し作業中、後退してきた小型特殊自動車ホイールローダーと停止中の2tダンプトラックとの間に挟まれた。
- ・被災状況：死亡（内臓損傷）
- ・発生原因：安全な作業方法の周知不足。組織内での安全管理に係る取り決めの周知不足。

10

共同活動の安全のしおり

共同活動前に安全確認を行い、事故の発生を防止しましょう

高めよう地域協働の力！
**多面的機能支払交付金
 共同活動の安全のしおり**
**共同活動前に安全確認を行い、
 事故の発生を防止しましょう**

<作業中の服装チェック>

- ヘルメットは被りましたか？
- 長袖、長ズボンは着用しましたか？
- 手袋、長靴等は着用しましたか？
- 防護メガネは着用しましたか？

活動前日までに、現地の下見、打合せ、緊急連絡先の確認を必ず行いましょう

- 活動中の事故を未然に防止するため、事前に活動場所の下見を複数で行いましょう。危険な箇所（急傾斜地、窪地やかわらみ、段差、電線や電柱、樹木、散石、急流の水深、危険物、機具など）の危険な箇所等のチェックを行い、危険物の除去や危険箇所をわかりやすく表示しましょう。
- 参加者の年齢、体力、作業の熟練度や当日の健康状態を確認し、適切な作業負担・配属を行うとともに、無理のない作業計画を立てましょう。
- 作業前には事前に体調チェックを行います。
- 緊急時に備え、緊急連絡表を作成し、全員で確認しておきましょう。
- 緊急連絡先の確認
 - ・ 農営りの連絡機関（農会）
 - ・ 消防の連絡先
 - ・ 保険会社
 - ・ 市町村

活動を行う前に、必ず保険に入りましょう

- 共同活動を行う際は、必ず保険に入りましょう。活動の保険会社に相談しましょう。
- 活動日の1〜2週間前までに手続きが必要なので、早めに参加費を決めようとして申し込みましょう。
- 1日あたり数十円〜数百円のものまで様々な種類があります。保険料は、参加者数と参加人数による活動の回数になります。

活動に当たっては、参加者一人一人が事故防止の意識を持つことが大切です

活動当日は、事前にチェックした危険箇所等の情報を参加者全員に周知し、注意喚起を行います。

- 雨対策をしましょう。
- 緊急連絡表を見やすい場所に掲示したり、連絡担当者が発着するようにしましょう。
- 熱中症には十分注意しましょう。
 - ・ 日陰を確保し、こまめに水分補給や休憩をとらましょう。
 - ・ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどを使って体を冷やしましょう。
 - ・ デントや扇風機などの置き扇風機も効果的です。
 - ・ 手足のひびやゆめい、肌荒れなど、万が一の怪我やトラブルを未然に防いだり、事前に確認をしましょう。
 - ・ 暑熱から場合や電圧が落ちるなどの場合は、すぐに再脱や中止を指示しましょう。
- 万が一事故が起きた場合は市町村に速やかに報告しましょう。

■ 事故の傾向（令和4年度の実績）
 共同活動に関する事故発生状況は、令和4年度（令和4年4月から令和5年2月まで）に150件の事故が発生しています。事故の発生場所としては、農地（52%）が最も多く、道路（19%）、農用地（13%）の順に多くなっています。この3つで84%を占めています。事故が発生した活動としては、草刈り（68%）が最も多く、約70%を占めています。

事故の発生状況としては、転倒・転落（45%）が最も多く、車や機具との接触（21%）が次に多く発生しています。この2つで66%を占めています。事故による怪傷の種類としては、擦傷（35%）及び骨折（23%）で過半数を占めています。

【農地での事故の発生状況】

活動内容	発生件数	割合
草刈り	78	52%
除草	25	17%
農作業全般	15	10%
その他	12	8%

【道路での事故の発生状況】

活動内容	発生件数	割合
歩行者	30	20%
自転車	15	10%
その他	10	7%

【農用地での事故の発生状況】

活動内容	発生件数	割合
草刈り	18	14%
その他	12	9%

【怪傷の種類別の発生状況】

怪傷の種類	発生件数	割合
転倒・転落	68	45%
車や機具との接触	32	21%
その他	50	34%

活動中の事故の多くは、主に水田での草刈り作業で転倒・転落、車や機具との接触により多く発生しています

安全確認チェックリスト

事前チェック

- 活動場所の下見をして作業環境を確認しましたか。
- 危険な箇所については、テープ等で印を付けたり、作業マップにマーキングしましたか。
- 参加者の年齢、作業の熟練度等を考慮して作業計画（分担、配属等）を立てましたか。
- 作業者は機具等の安全な操作方法を習得しましたか。
- 参加者は全員保険に入りましたか。
- 緊急連絡表は作成しましたか。

当日チェック

- 参加者に危険な箇所の説明をしましたか。
- 機具等を用いる場合、点検は済みましたか。
- 緊急連絡表の掲示や携帯はしましたか。

農作業等の安全対策の留意点等を詳細に解説した「農作業安全のための指針」や事故防止の取組事例等の農作業安全に関する情報は、農林水産省のホームページでご覧になれます。

農林水産省HP→

